

高遠高等学校 体育館屋根改修工事

図 面 リ ス ト		
番 号	図 面 名	縮 尺
A-00	表紙・図面リスト	—
A-01	改修工事特記仕様書-1	—
A-02	改修工事特記仕様書-2	—
A-03	改修工事特記仕様書-3	—
A-04	案内図・配置図・設計説明書・概略工程表	S=1/1200
A-05	仕上表	—
A-06	仮設計画配置図-1	S=1/300
A-07	仮設計画配置図-2	S=1/300
A-08	外部足場組立参考図-1	S=1/200
A-09	外部足場組立参考図-2	S=1/200
A-10	1階平面図	S=1/200
A-11	2階平面図	S=1/200
A-12	2階上部平面図	S=1/200
A-13	改修前 立面図-1	S=1/200
A-14	改修前 立面図-2	S=1/200
A-15	改修後 立面図-1	S=1/200
A-16	改修後 立面図-2	S=1/200
A-17	改修前 矩形図	S=1/100
A-18	改修後 矩形図	S=1/100
A-19	改修前後 各部詳細図	S=1/10
A-20	改修前 屋根伏図	S=1/200
A-21	改修後 屋根伏図	S=1/200

 長野県 教育委員会事務局

 藤本建築設計事務所

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ ()mm以上
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ ※水下 80mm以上
床タイル張り ※水下 60mm以上
立上り部の保護工法
・乾式保護材 (品質・性能、試験方法は別表による)
工業系パネルI類 (厚さ (mm) 幅 (mm))
・れんが押え (※JIS R 1250)
・コンクリート押え
・モルタル押え (屋内)
屋根露出防水 (既存)
新設防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	備考
				種類	使用量		
・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	※アスファルトルーフィング類の仕様		・適用する
・M3D ・P0D	・D-1 ・D-2			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	※アスファルトルーフィング類の仕様		・脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・P0D1 ・M3D1 ・M4D1	・D1-1 ・D1-2		改修標準仕様書3.3.2(9) (種類) (厚さ) (mm)	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	※アスファルトルーフィング類の仕様		・脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ ()mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ ()mm以上
絶縁断熱工法のルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示による
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個)
屋内防水
防水層の種類

改修工法	種別	施工箇所
・PIE	・E-1	
・P2E	・E-2	

保護層
・設ける (※図示による)
・設けない
E-1の工程3を行う部位
※防水槽、浴槽等常時水に接する部位
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
屋上排水溝
・図示による
屋根露出防水 (既存)
新設防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	備考
				種類	使用量		
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2			・改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	※改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		・適用する
・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1			・改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	※改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		・脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・P0AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			・改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	※改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		・脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・M3AS1 ・M4AS1 ・P0AS1	・AS1-T1		改修標準仕様書3.4.2(3)(9) (種類) (厚さ) (mm)	・改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	※改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様		・脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ ()mm以上
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ ()mm以上
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ ()mm以上
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※改質アスファルトルーフィング類の製造所の指定
設置数量 ※改質アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個)
絶縁断熱工法の防湿用シート
・設置する
・設置しない
新設防水層の種類 [3.5.2~4] [表3.5.1~3]

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	備考
				種類	使用量		
・POS ・S4S	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2			※ルーフィングシートの製造所の仕様	※ルーフィングシートの製造所の仕様		・脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・S3S	・S-F1 ・S-F2			・プレキャストコンクリート下地	※ルーフィングシートの製造所の仕様		・脱気装置 ・設ける ・設けない
・M4S	・S-M1 ・S-M2			※ルーフィングシートの製造所の仕様	※ルーフィングシートの製造所の仕様		・脱気装置 ・設ける ・設けない
・S1-F1 ・S1-F2 ・S1-M1 ・S1-M2				改修標準仕様書3.5.2(3)(2)(b) (種類) (厚さ) (mm) ・25 ・50	※ルーフィングシートの製造所の仕様		・脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	・S1-F2 ・S1-M1 ・S1-M2			改修標準仕様書3.5.2(3)(2)(a) (種類) (厚さ) (mm) ・25 ・50	※ルーフィングシートの製造所の仕様		・脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様
※非歩行仕様
・軽歩行仕様
SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム
・設置する
・設置しない
屋内防水
防水層の種類

改修工法	種別	施工箇所	保護層	
			平場の保護モルタル塗厚	立上り部の保護モルタル塗厚
・P1S	・S-C1			※7mm以下

平場の保護モルタル床塗りににおける目地の目地割及び種類
目地割
※目地割2m程度、最大目地間隔3m程度
目地の種類
※押し目地
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による
・JIS A 6008Iに基づく種類及び厚さ
種類
厚さ mm以上
絶縁用シート
※発泡ポリエチレンシート

固定金具の材質、形状及び寸法
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を精層加工したもの
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様
設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 (個)
接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
・行う (・図示による)
プレキャストコンクリート部材の隅部部材の増張り (種別S-F1、SI-F1の場合)
・行う (・図示による)
・行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
1章 適用区分による風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法
新設防水層の種類 [3.6.2、3]

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		高日射反射率防水	備考
			種類	使用量		
・POX	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H ・		・主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様		・脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・L4X	※X-1 ・X-2 ・X-1H ・X-2H ・		・主材料の製造所の仕様	※主材料の製造所の仕様		・脱気装置 ・設ける ・設けない

ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※主材料の製造所の仕様
設置数量 ※主材料の製造所の仕様 (個)
新設防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層
・PIY	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様	・設ける ・設けない
・P2Y	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様	・設ける ・設けない

シーリング改修工法の種類
・シーリング充填工法
○シーリング再充填工法
・拡張シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
○適用する
○適用しない
シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類 (記号)

仕上げを行わない施工箇所
・図示による
シーリング材の目地寸法
※改修標準仕様書3.7.3(1)による
・図示による
接着性試験
※簡易接着性試験
・引張接着性試験
その他の材料
・配管用鋼管
・硬質ポリ塩化ビニル管
・ルーフトレン
○表面処理鋼板 (表面及び裏面の塗膜の種類、)
受金物
材種
※改修標準仕様書3.8.2による (溶融亜鉛めっきを行ったもの)
形状
※市販品 (とい径100以下)
※25×4.5以上 (とい径100を超えるもの)
取付け間隔
※改修標準仕様書3.8.2による
足金物
材種
※改修標準仕様書3.8.2による (溶融亜鉛めっきを行ったもの)
形状
※市販品

取付け間隔
※改修標準仕様書3.8.2による
多雪地域
・適用する
・適用しない
防露材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法
○図示による
鋼管製といの防露巻き
※改修標準仕様書表3.8.4による
ルーフトレンの種類及び呼び

種別	呼び	施工箇所
○ろく屋根用たて形I型	※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150	
・ろく屋根用横形I型	※ねじ込み式 ・80 ・100 ・125 ・150	
・バルコニー中継用	※ねじ込み式 ・50 ・80 ・100	
	・差し込み式 ・50 ・75 ・100	
・バルコニー用	※ねじ込み式 ・50 ・80 ・100	
	・差し込み式 ・50 ・75 ・100	

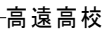
たてどい受金物の取付け
※図示による
ルーフトレンの取付け
※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する
種類
・オープン形式 (・押出250形
・押出300形
・押出350形)
・板材折曲げ形 (・オープン形式
・シール形式)
本体幅 ()mm 板厚 (※2.0mm)mm
表面処理
種別 ()種
色色等
・標準色 ()
・特注色 ()
既存受金等の撤去
・行う (範囲
・図示による)
・行わない
下地補修の工法
※図示による
板材折曲げ形の受金物の取付方法
※図示による
受金物の固定金具の工法等
1章 適用区分による風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

4 外壁改修工事 (共通事項)
1. 施工数量調査
調査範囲
・外壁改修範囲
・図示による
調査時期
・外壁仕上げ等除去前
・外壁仕上げ等除去後
調査内容
ひび割れの幅及び長さや壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。
コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
既存部分の破壊を行った場合の補修方法
・図示による
・監督員との協議による
調査報告書 (提出部数 2部)
4-1 外壁改修工事
コンクリート打放し仕上げ外壁
1. ひび割れ部改修工法 [4.1.4] [4.2.4、5、6、7]

工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0 未満	※200~300	・130 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3 未満	・50~100	・40 ・
	0.3以上~0.5 未満	・100~200	・70 ・
	0.5以上~1.0 未満	・150~250	・130 ・

注入状況の確認方法
※コアの抜取りを行う
抜取り回数
※長さ500mmごと及びその端数につき1個
抜取り部の補修方法
※図示による
Uカットシール材充填工法
・シーリング材
充填材料の種類
※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・行う
・行わない
シーリング材の試験は改修標準仕様書3章 防水改修工事による。
可とう性エポキシ樹脂
・シール工法
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂
充填工法
・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル

年 月 日 2024-7-23
所 長 製 園
藤 本 藤 本
特 長 野県飯田市東栄町3351-1
TEL 0265-24-1275 FAX 0265-49-0005
Eメール fujimoto.sekkei @ bj.wakwak.com
ホームページ http://park17.wakwak.com/~fuj13
記 藤本建築設計事務所
設計事務所登録第(飯田)H64251号 1級建築士大臣登録195143号 藤本 勝
設計者 藤本 新
一級建築士
登録番号:第391758号
工事名 高速高等学校 体育館屋根改修工事
図 名 改修特記仕様書-2
縮 尺 S=NON
No. A-02



設 計 說 明 書

施 工 条 件

※工事を進めるに当たり、施行管理者、施設管理者、監督員並びに工事監理者と連携を取り、工程会議で協議をして、工事施工を行う。


$$S = 1 \nearrow 1, 200$$

高遠高等学校 体育館屋根改修工事 概略工程表

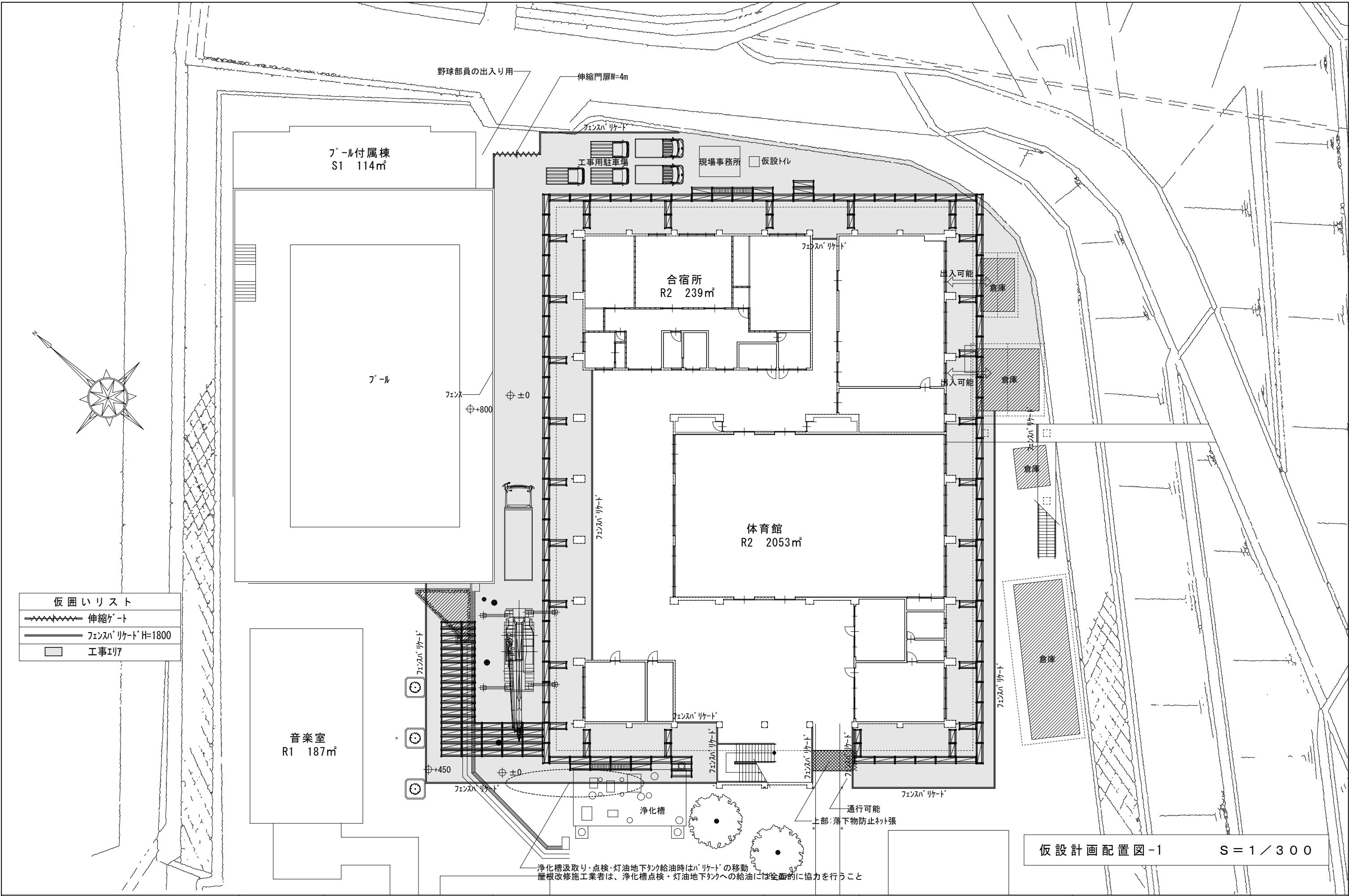
適用

共 通 事 項				外 部 仕 上 げ			内 部 仕 上 げ					
(1) 本改修仕上表の表記 1) 項目は、○ の印の付いたものを適用する。 ○ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○ 印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。 2) 記載の (○-○○-○) 内の数字は建築工事標準詳細図 (令和4年版) の詳細番号を示す。 3) 略号は下表による。 ([] は JIS 旧略号及び名称を示す)				床	特記以外の下地及び詳細番号は下表による。			床	特記以外の下地及び詳細番号は下表による。			
					仕上げ種別		改修前(既存)詳細番号		改修後詳細番号	仕上げ種別		
					タイル張り仕上げ(張付け面積の小さい場合)		(1-01-5)		FS,KT,FT		(1-01-4) (増打厚 ※10mm ・)RC	
					タイル張り仕上げ(上記以外の場合)		(1-01-6)		[NC], [CT, CTS], [HT]			
					コンクリート直均し仕上げ		(1-01-3) (増打厚※10mm)		タイル	○	(1-01-5又は6) (増打厚※ ・)	
					天然石 (ひき石)		(1-01-9, 10)		カーペット		(1-02-4又は5)	
					モルタル・防水モルタル		(1-01-1)		畳		(1-02-3)	
					誘導用床材・注意喚起用床材		(1-01-7)		天然木化粧複合フローリング		(1-02-8又は9)	
									RC 床用塗料 防塵用塗料		(1-01-3) (増打厚※ ※10mm ・)RC	
									モルタル 防水モルタル		(1-01-1) 防水モルタル厚さ ※15mm ・ 30mm	
									(1) フリーアクセスフロア下地の場合は (1-02-14 : 防塵用塗料 ※無 ・ 有) とする。			
				壁・柱・梁	特記以外の下地及び詳細番号は下表による。			幅 木	特記以外の下地及び詳細番号は下表による。			天 井
					仕上げ種別		改修前(既存)詳細番号		改修後詳細番号	仕上げ種別		
					外装タイル密着張り		(2-01-4)		VB		(2-11-1) (2-11-9)	
					コンクリート打放し		(2-02-7, 11)		WB (樹脂 ※杉 ・)		(2-11-4) QL仕上げ	
					天然石 (ひき石)		(2-02-1, 2)		FS/TS (せみ床?ト立ち上げ)		(2-11-2 : 7; 装?3 ヌ)	
					モルタル・防水モルタル		(2-02-12)					
					塗材		(2-02-7, 11)					
					(1) 改修後のコンクリート打放しの出隅面取りは20mm、出隅角面取りは20×20mmとする。 (2) 改修後の下がり壁の仕上げは壁と同じとする。							
				腰	※壁・柱・梁に同じとする				特記以外の下地及び詳細番号は下表による。			
				屋根	特記以外の下地及び詳細番号は下表による。				特記以外の下地及び詳細番号は下表による。			
					改修前(既存)の仕上げ種別		改修工法	改修後の仕上げ種別	ボード張り (RC又はCB下地)		改修前(既存)詳細番号	改修後詳細番号
								ボード張り (軽量鉄骨壁下地：一般壁)		(2-03-6又は7) (1枚張り) (GL工法 接着剤の厚さ ※11～13mm)		
								ボード張り (軽量鉄骨壁下地：遮音壁)		(2-22-1) (2-24-5, 6: 継目処理の場合)		
								内装タイル (RC又はCB下地)	○	(2-23-1) (2-24-5, 6: 継目処理の場合)		
								モルタル		(2-01-2)		
								吸音材張り (RC又はCB下地)		(2-02-12)		
										(2-02-13)		
				軒天	特記以外の下地及び詳細番号は下表による。			壁・柱	特記以外のボード類は下表による。			
					仕上げ種別		改修前(既存)詳細番号		改修後詳細番号	種別	改修前(既存)	備考
					DR (軒天)		(3-01-4)		厚さ (mm)		備考	厚さ (mm)
					金属成形板張り		(3-01-9)					
				庇	※壁・柱・梁、屋根、軒天に同じとする。				GB-R	12.5	塗装仕上げ及び、壁紙張りの場合は継目処理 (2-03-6又は7) (2-03-10又は11) ただし、仕上げ等行わない場合は突き付け (2-03-8又は9) (2-03-12又は13) とする。 (二重張りの特記無き限り下張りは上張りと同厚のボードとする。)	
									ケイカル板	8	突付け (V目地) (2-03-17 : 下地張りはGB-S) (2-03-12 : 下地張りは ・ GB-S・ 付加板)	
RC () において、床についてはコンクリート直均し (種別) とする。 4) 特記以外の鉄鋼面、垂船めつき鋼面は、SOP (☆☆☆☆) とする。 5) 特記以外の建物内部の木材は、EP-G (水系) とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。 6) 備考欄の「測定対象室 ()」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、 () 内数値は測定箇所数を示す。												

(1) 改修後の下がり壁 (3-12-1 ※壁紙剥離切縁 ・アルミ剥離切縁) の仕上げは壁と同じとする。ただし下地張りは無しとする。 (2) 改修後のボード壁とRC又はCB壁との取合いは (2-24-4又は7 ※目隠し ・ 継目処理) とする。 (3) 改修後のボード壁とサッシ取合いは (2-24-8) とする。 (4) 改修後の押入れ (6-46-1) の壁はGB-R厚さ12.5mm塗装なし突付けとする。 (5) 改修後の陶器質タイルを、軽量鉄骨壁下地のボード面に接着張りを行う場合のボードは、下地張りGB-S上張りをケイカル板 (突付け) とする。(2-03-13) (6) 化粧ケイカル板を使用する場合の目地処理は (・ 目地シーリング工法 ・ アルミジョイナー工法 ・) とする。			
特記以外の下地及び詳細番号は下表による。			
仕上げ種別		改修前(既存)	改修後
		詳細番号	厚さ (mm) 詳細番号 厚さ (mm)
DR (フラットタイプ)			・ (3-01-4) ・ 9 ・ 12
DR (凹凸タイプ)			・ (3-01-4) ・ 12 ・ 15
ケイカル板			・ (3-01-2) ・ 6
GB-NC (T)			・ (3-01-2) ・ 9.5
GB-D			下地は製造時の仕様による
GB-S			・ (3-01-12) ・ 25
RW又はGW張り			
(1) 軽量鉄骨天井下地は (3-21-1, 2) (3-21-3) (3-41-1, 2) (3-42-1, 2) とする。 GB-R (2) 改修後の押入れ (6-46-1) の天井はGB-R厚さ12.5mm塗装なし突付けとする。 (3) 改修後の壁～天井の取合いは天井付き目地 (3-11-3, 4, 7, 8 ※壁紙剥離切縁 ・アルミ剥離切縁) とする。 (4) DRの下張りは ※GB-R12.5mm ・ GB-NC9.5mmとする。 (5) 改修後のGB-NC (T) の大きさは ※910×455mm ・ 910×910mmとする。 (6) 改修後の塗装仕上げ及び壁紙張りの場合はGB-R厚さ12.5mm (継目処理) とする。 (7) 改修後の外部のDR (軒天) の下地張りはGB-S厚さ12.5mmとする。			
C : コンクリート下地、ALC下地、押出成型セメント板下地 GB : コンクリートブロック下地 S : 軽量鉄骨下地 W : 木造下地 FA : フリーアクセスフロア			

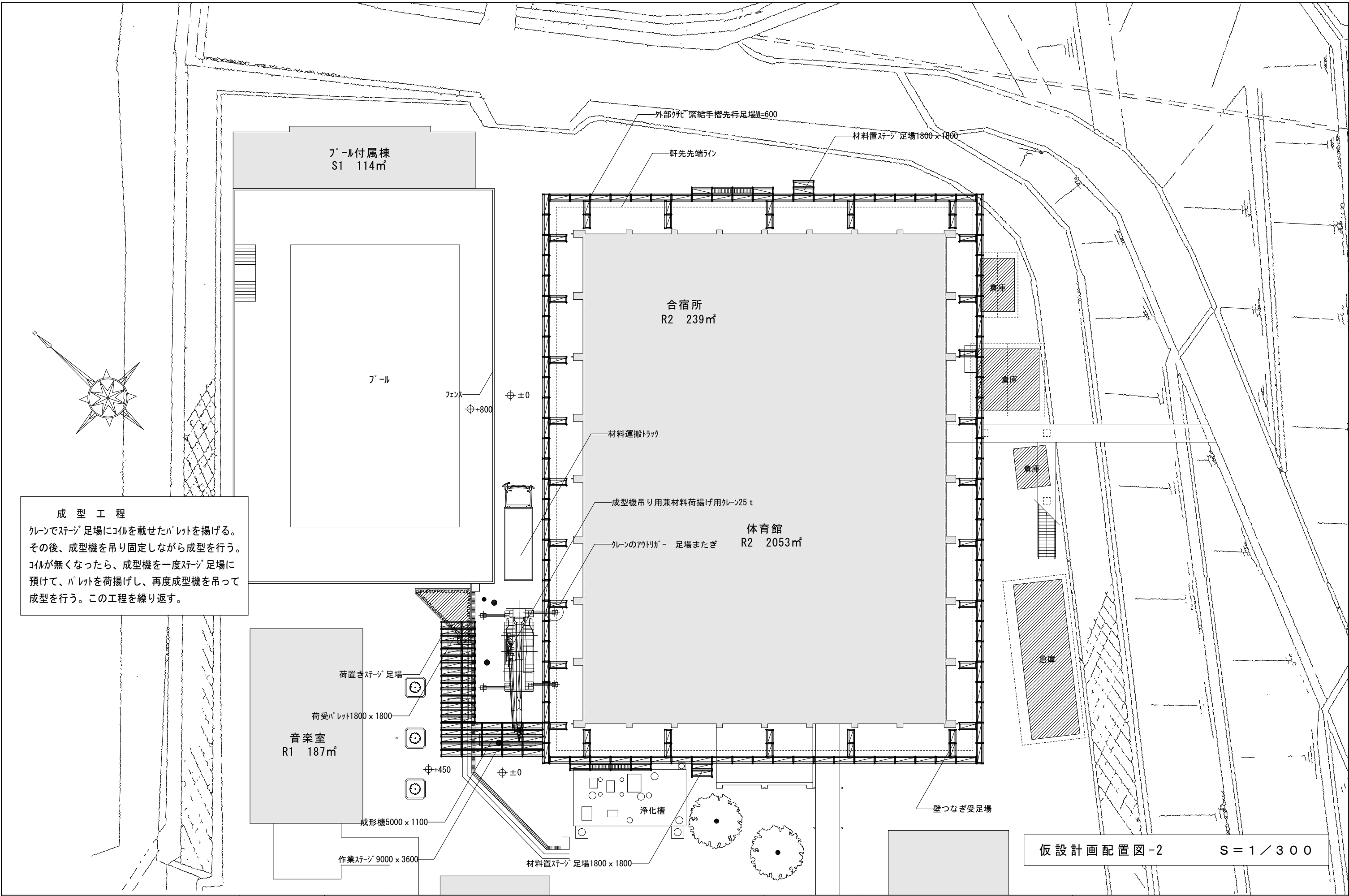
改修内容凡例					
既 存	改 修	A : 仕上げ撤去 B : 図示の仕上げ撤去 C : 下地共新設 D : 図示の下地共撤去 E : 下地の調整 F : 既存のまま			

共通事項	1. 間仕切りの撤去・新設等の位置は、平面図による。
------	----------------------------



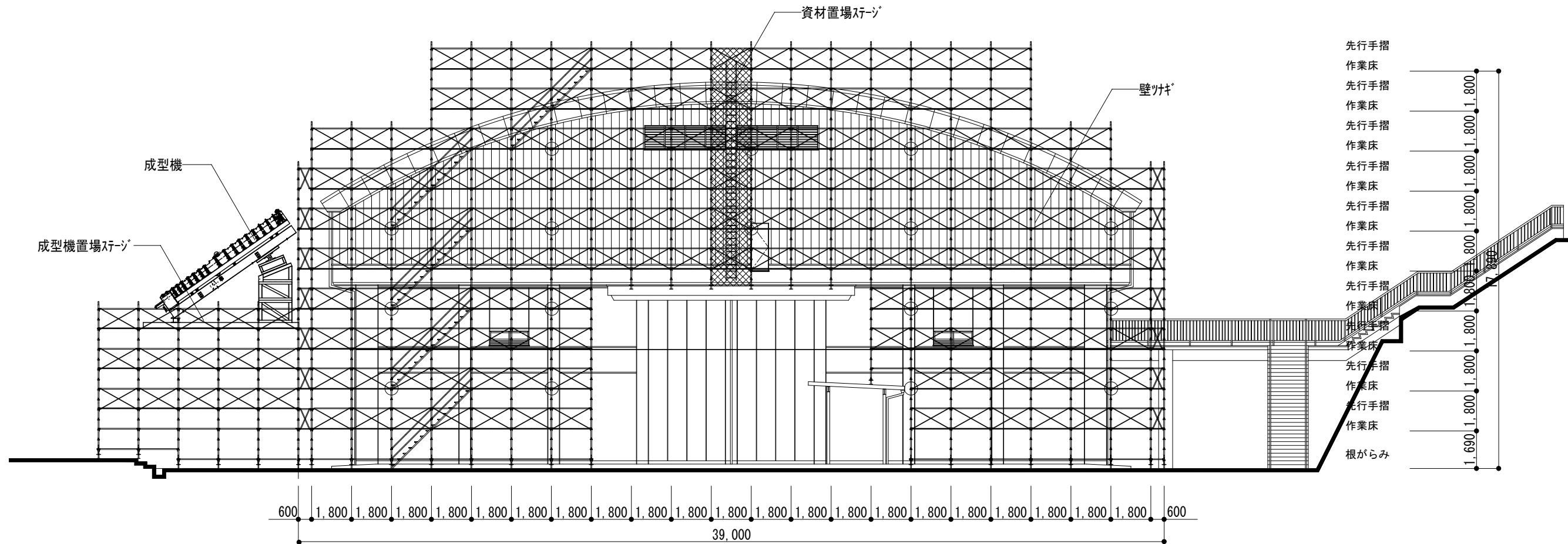
仮囲いリスト	
	伸縮ゲート
	フェンスバリアード H=1800
	工事エリア

仮設計画配置図-1 S = 1 / 3 0 0

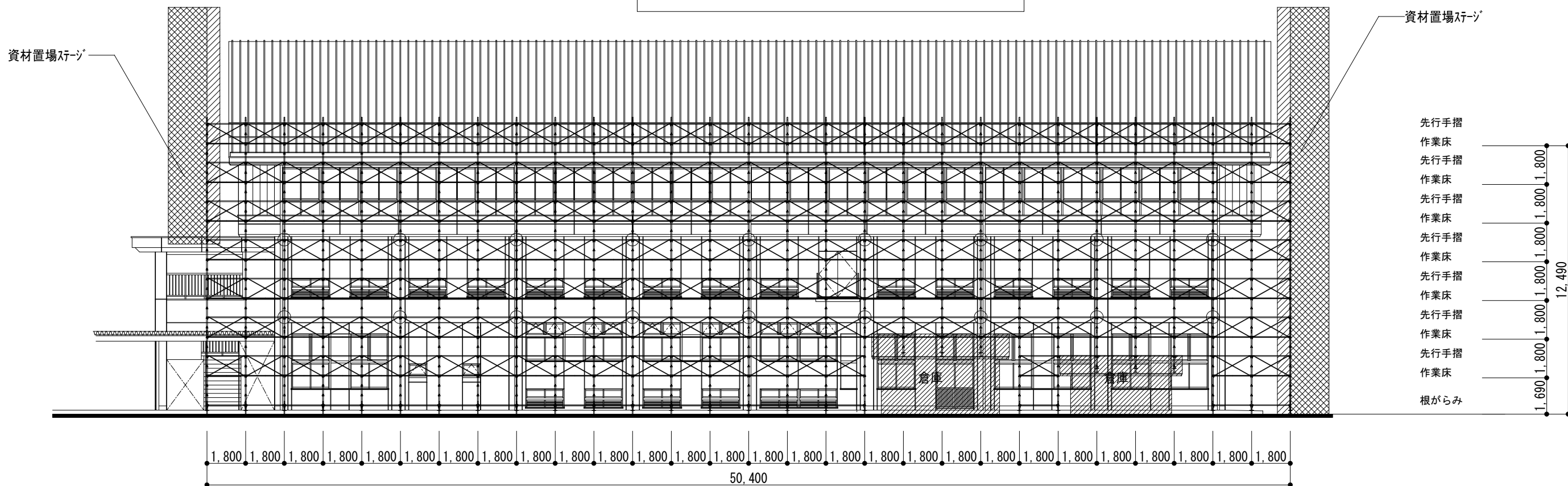


成型工程
クレーンでステージ足場にコイルを載せたパレットを揚げる。
その後、成型機を吊り固定しながら成型を行う。
コイルが無くなったら、成型機を一度ステージ足場に
預けて、パレットを荷揚げし、再度成型機を吊って
成型を行う。この工程を繰り返す。

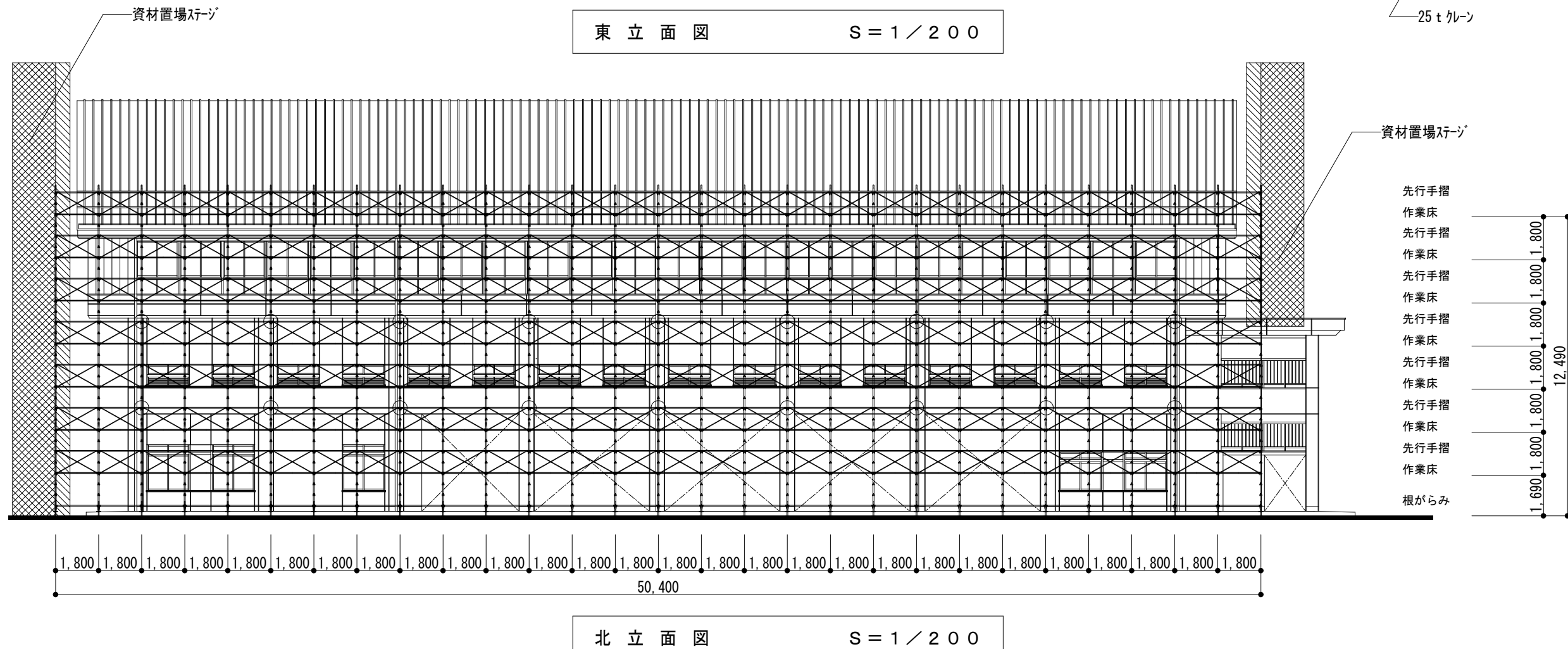
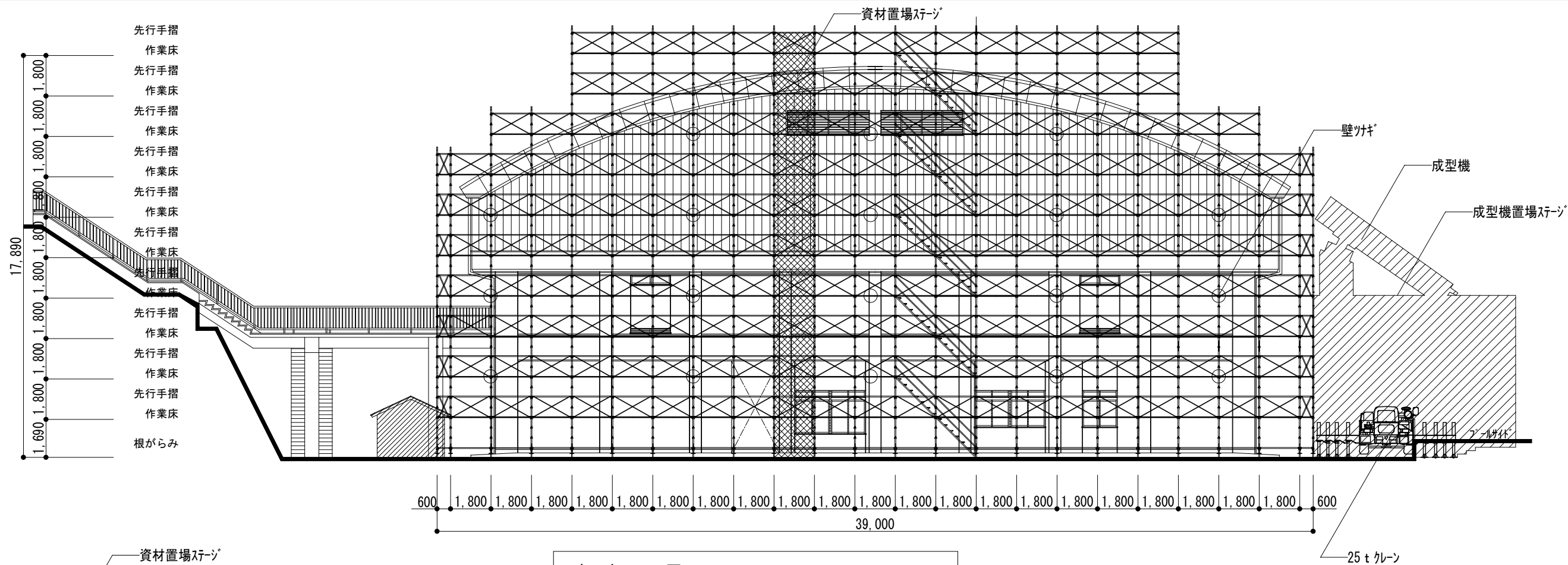
仮設計画配置図-2 S = 1 / 300



西立面図 S = 1 / 200



南立面図 S = 1 / 200



長野県教育委員会事務局

年 月 日	2024-7-23
所 長	製 図
藤 本	藤 本

特 記
長野県飯田市東栄町3351-1
TEL 0265-24-1275 FAX 0265-49-0005
E/F-fujimoto.sekkei@bj.wakwak.com
8-LA'-ジ' http://park17.wakwak.com/~fuji3



藤本建築設計事務所

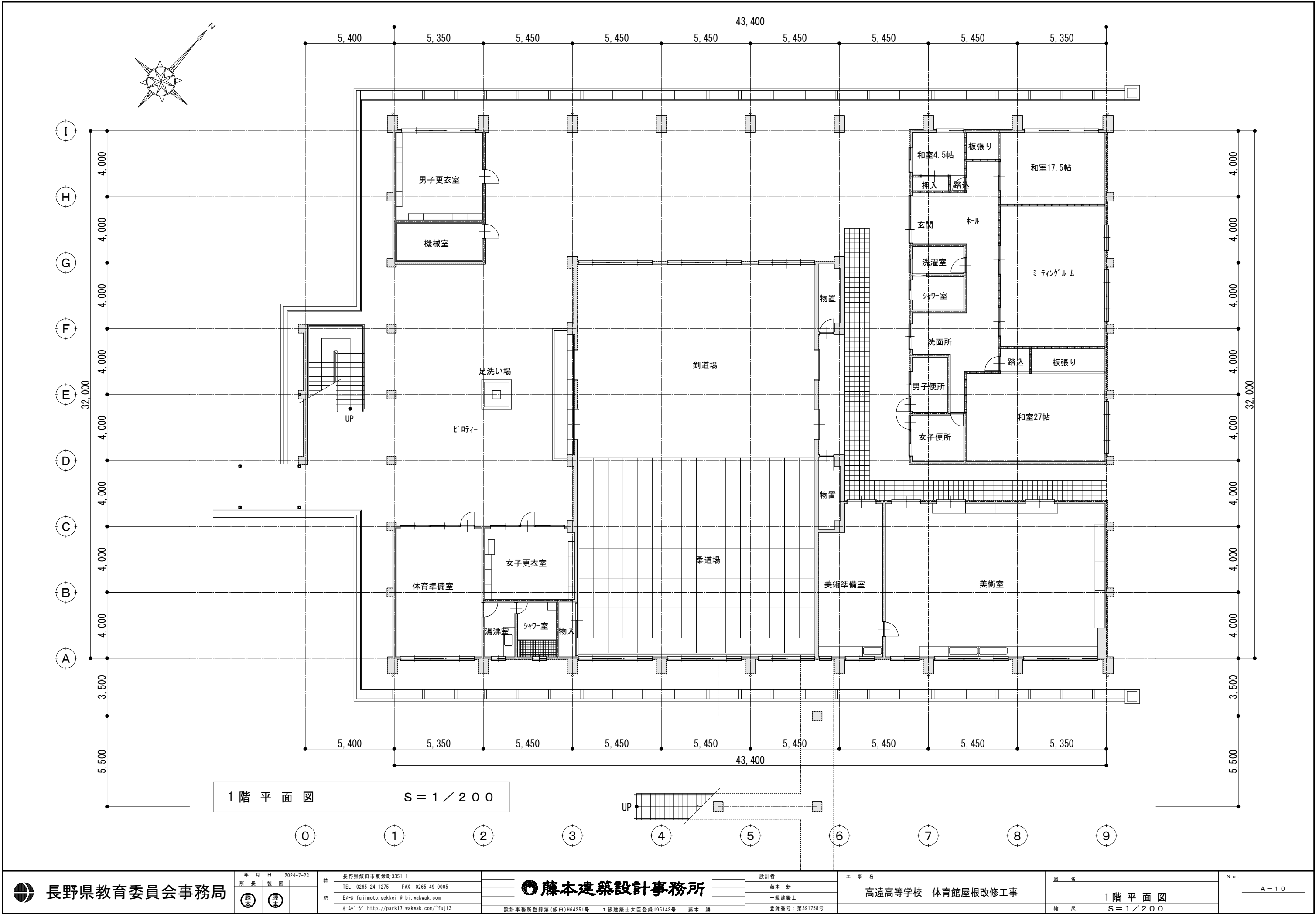
設計事務所登録第(飯田)H64251号 1級建築士大臣登録195143号 藤本 勝

設計者	藤本 新
一級建築士	
登録番号	第391758号

工 事 名
高遠高等学校 体育館屋根改修工事

図 名	外部足場組立参考図-2
縮 尺	S=1/200

No. A-09



長野県教育委員会事務局

年	月	日	2024-7-23
所	長	製	図
藤	本	藤	本

特

記

長野県飯田市東栄町3351-1
TEL 0265-24-1275 FAX 0265-49-0005
EJ-k fujimoto.sekkei @ bj.wakwak.com
ホ-A'-J' http://park17.wakwak.com/~fuji3



藤本建築設計事務所

設計事務所登録第(飯田)H64251号 1級建築士大臣登録195143号 藤本 勝

設計者

藤本 新
一級建築士

登録番号: 第391758号

工事名

高速高等学校 体育館屋根改修工事

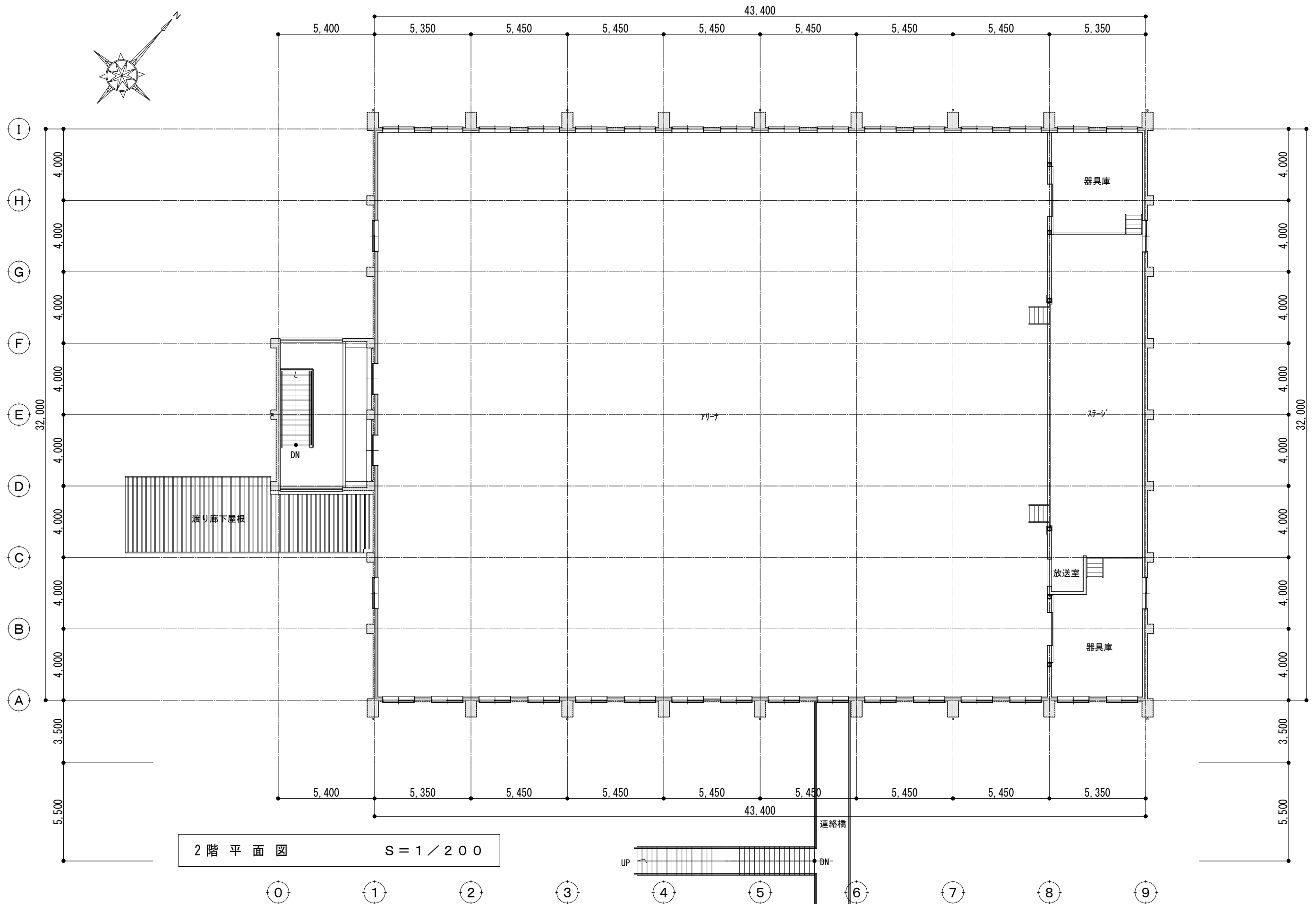
図名

1階平面図

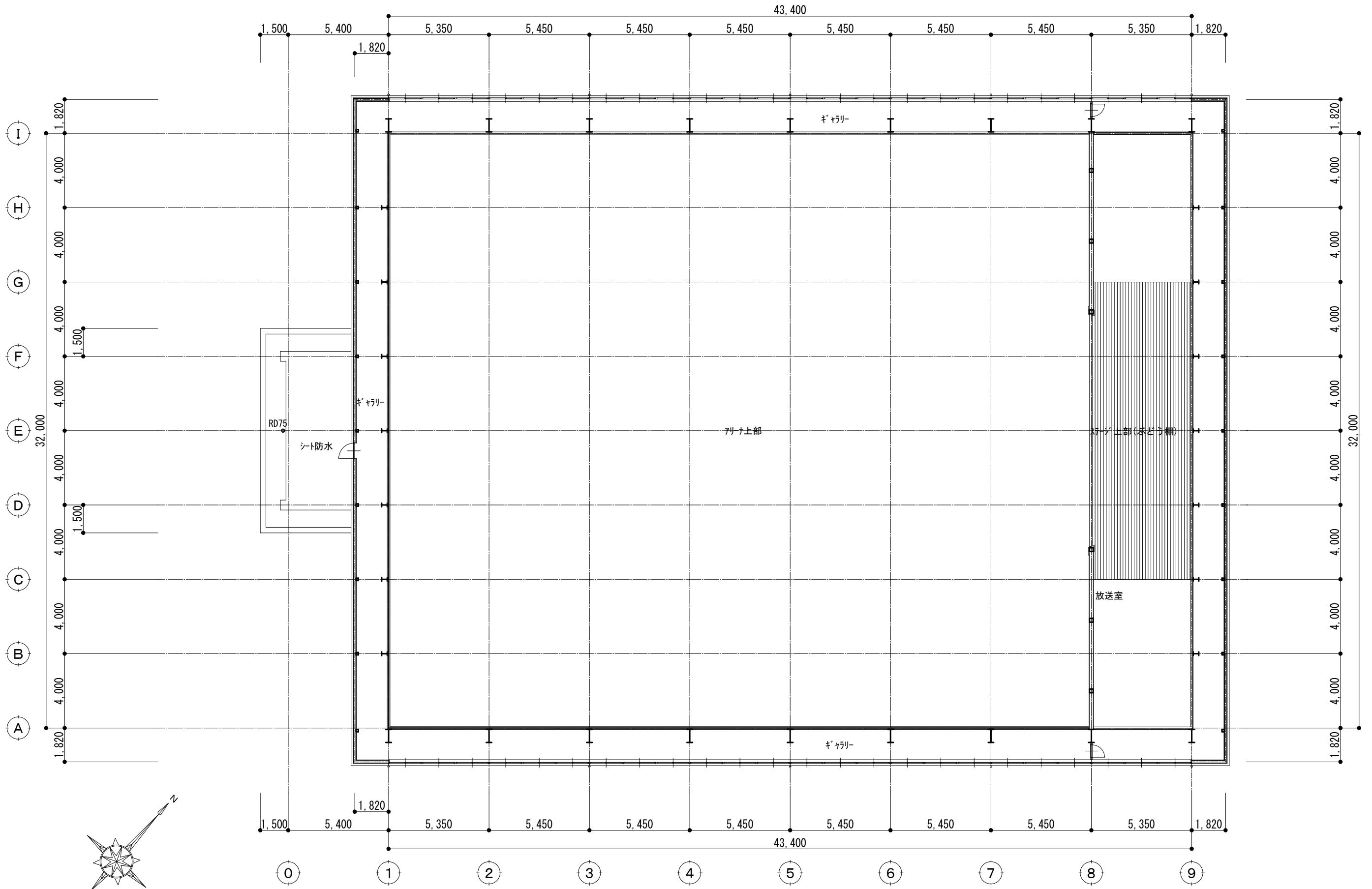
縮尺 S = 1 / 200

No.

A-10



※ アリーナ・ステージ・器具庫 床面は引渡し前に清掃を行う



2階上部平面図

S = 1 / 2 0 0

※ ギャラリー 床面は引渡し前に清掃を行う



長野県教育委員会事務局

年	月	日	2024-7-23
所	長	製	図
藤	本	藤	本

特

記

長野県飯田市東栄町3351-1
TEL 0265-24-1275 FAX 0265-49-0005
EJ-k fujimoto.sekkei @ bj.wakwak.com
ホムエーダ http://park17.wakwak.com/~fuji13



藤本建築設計事務所

設計事務所登録第(飯田)H64251号 1級建築士大臣登録195143号 藤本 勝

設計者

藤本 新
一級建築士

登録番号: 第391758号

工 事 名

高速高等学校 体育館屋根改修工事

図 名

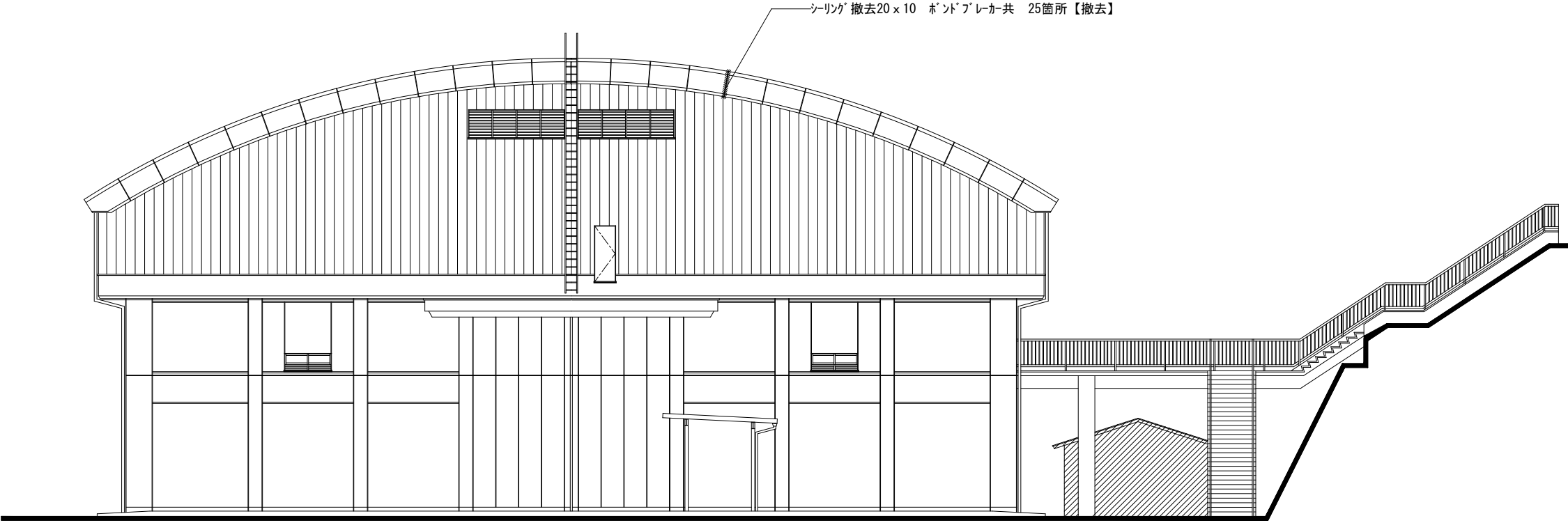
2階上部平面図

縮 尺

S = 1 / 2 0 0

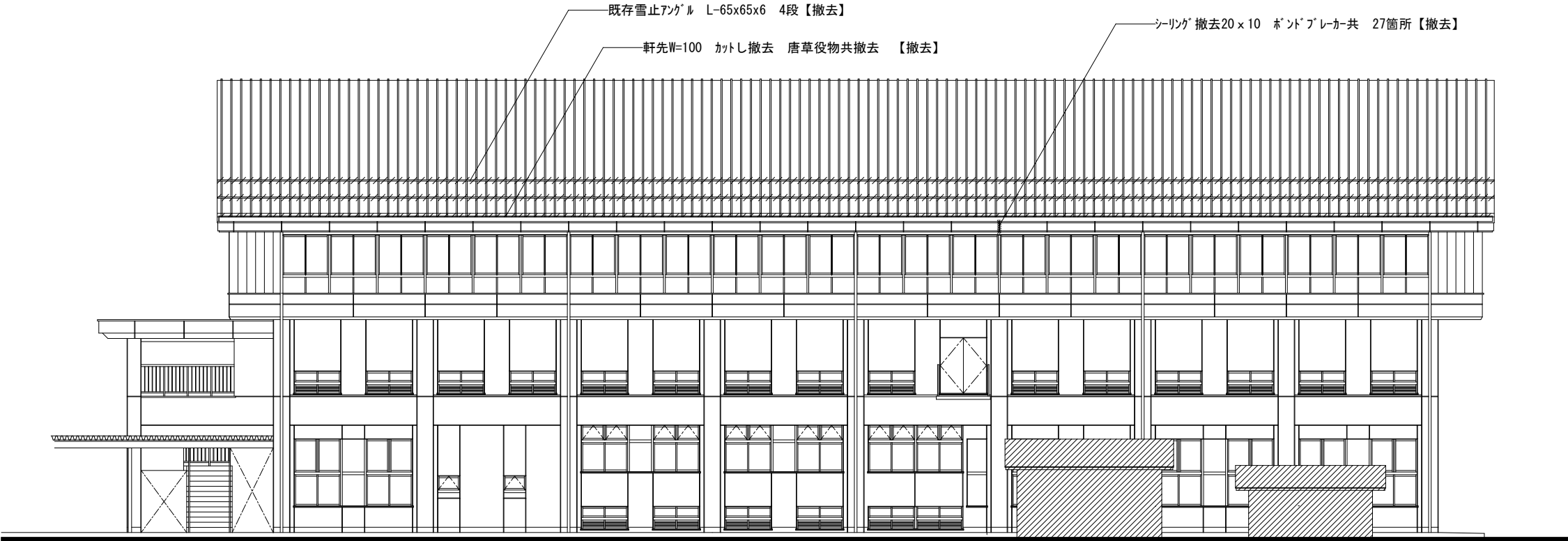
N o .

A - 1 2



改修前西立面図

S = 1 / 2 0 0



改修前南立面図

S = 1 / 2 0 0



長野県教育委員会事務局

年 月 日	2024-7-23
所 長 製 図	
藤 本	藤 本

特 長野県飯田市東栄町3351-1
TEL 0265-24-1275 FAX 0265-49-0005
記 E f - k f u j i m o t o . s e k k e i @ b j . w a k w a k . c o m
8-kk-7 http://park17.wakwak.com/~fuj13



藤本建築設計事務所

設計事務所登録第(飯田)H64251号 1級建築士大臣登録195143号 藤本 勝

設計者	藤本 新
	一級建築士
登録番号	第391758号

工 事 名
高遠高等学校 体育館屋根改修工事

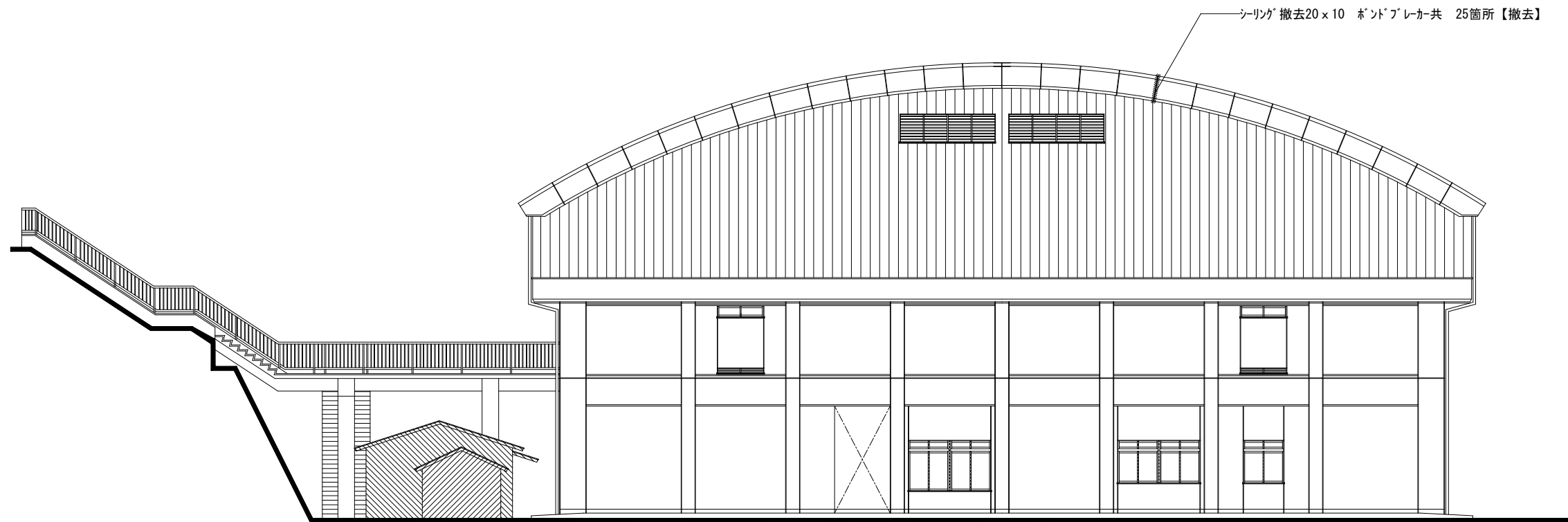
図 名

改修前 立面図-1

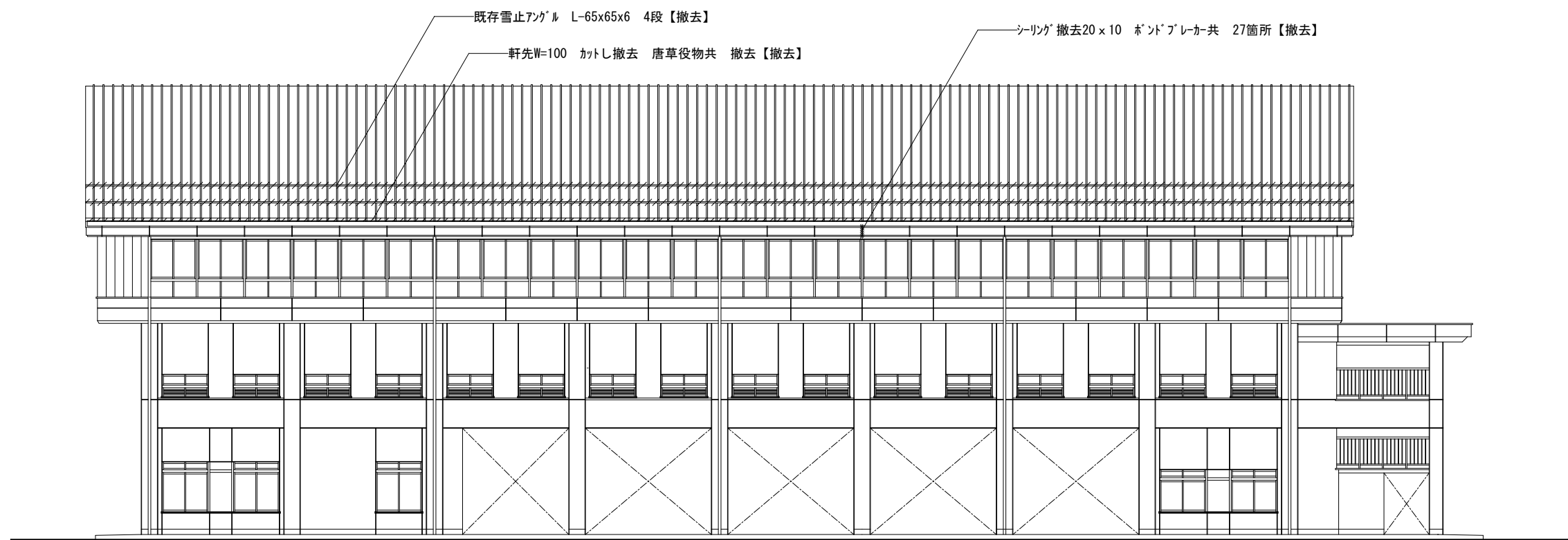
縮 尺 S = 1 / 2 0 0

No.

A - 1 3



改 修 前 東 立 面 図 S = 1 / 2 0 0



改 修 前 北 立 面 図 S = 1 / 2 0 0



長野県教育委員会事務局

年 月 日	2024-7-23
所 長	藤 本
製 図	藤 本

特 記

長野県飯田市東栄町3351-1
TEL 0265-24-1275 FAX 0265-49-0005
EJ-f fujimoto.sekkei@bj.wakwak.com
8-AE-7 http://park17.wakwak.com/~fuj13



藤本建築設計事務所

設計事務所登録第(飯田)H64251号 1級建築士大臣登録195143号 藤本 勝

設計者
藤本 新
一級建築士
登録番号: 第391758号

工 事 名

高遠高等学校 体育館屋根改修工事

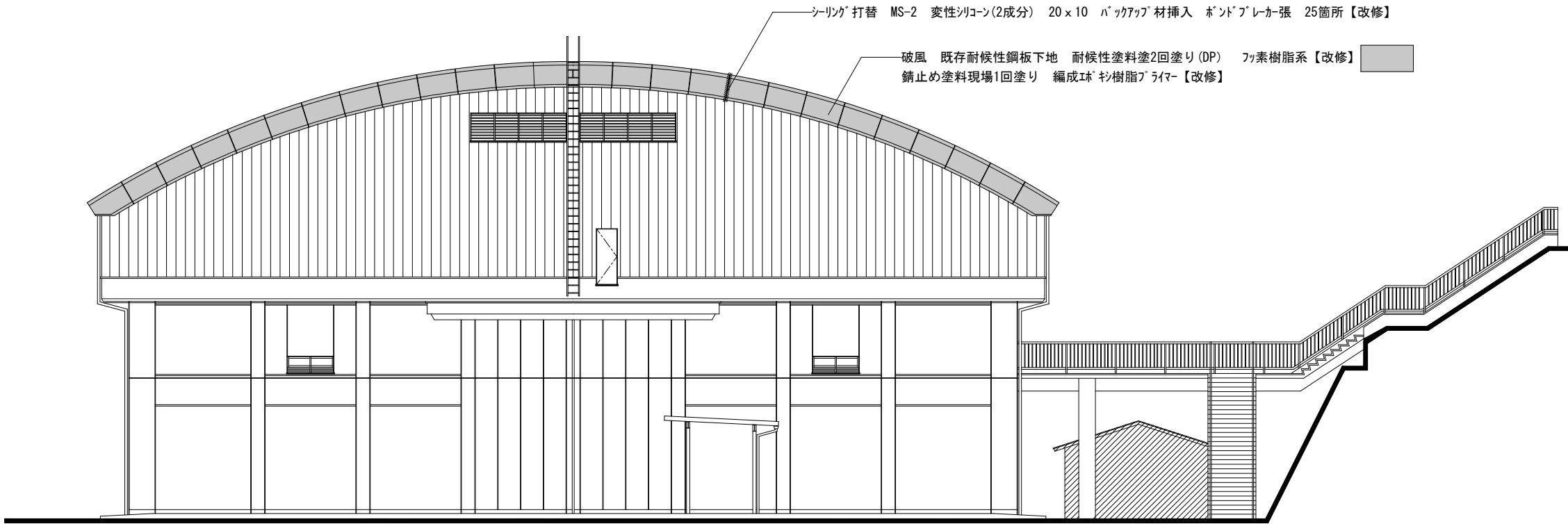
図 名

改 修 前 立 面 図-2

縮 尺 S = 1 / 2 0 0

N o .

A - 1 4



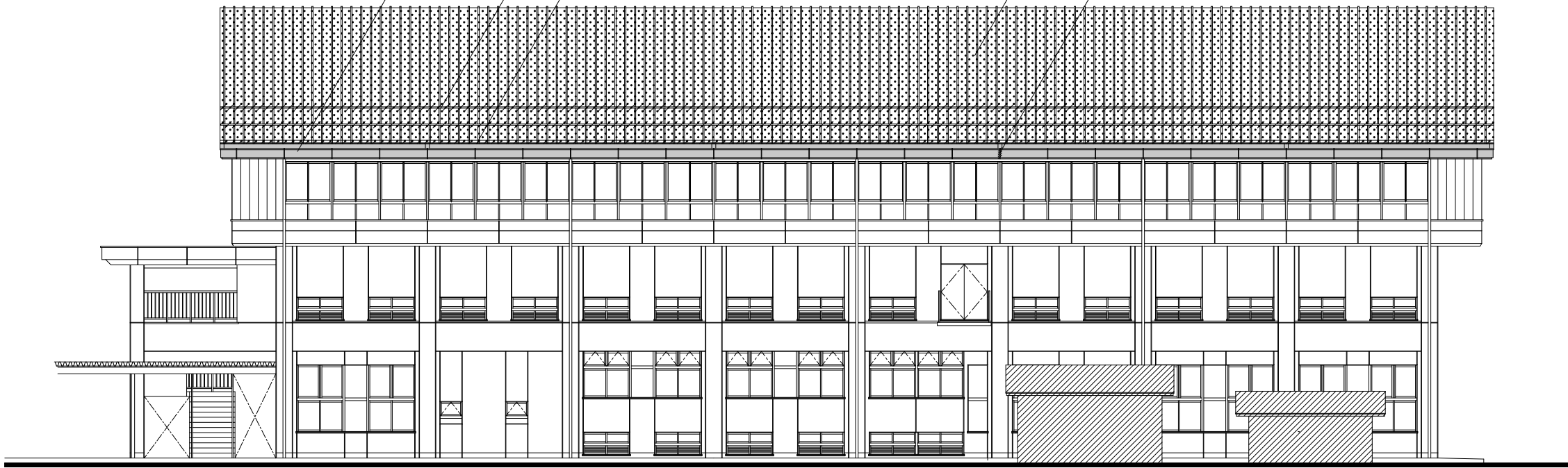
改修後西立面図 S = 1 / 200

笠木・幕板共 既存耐候性鋼板下地 耐候性塗料塗2回塗り (DP) フッ素樹脂系【改修】
錆止め塗料現場1回塗り 編成エポキシ樹脂プライマー【改修】

雪止金具:L-50x50x4(垂鉛メッキ) 4段【改修】
唐草役物取付:7mm垂鉛合金メッキ鋼板(ガルバリウム鋼板t=0.5)【改修】

屋根:既存屋根の上にかゝ工法で改修【改修】
7mm垂鉛メッキ鋼板(ガルバリウム鋼板)t=0.5 裏打断熱材:無機質高充填フォームt=4 瓦棒葺【改修】
吊子 5φシンワッシャー止め ~@606【改修】
7スファルトルーフィング 940適合品(JIS規格)【改修】

シーリング打替 MS-2 変性シリコン(2成分) 20×10 バックアップ材挿入 ボンドブレーカー張 27箇所【改修】



改修後南立面図 S = 1 / 200



長野県教育委員会事務局

年	月	日	2024-7-23
所長	製図		
藤本	藤本		

特

長野県飯田市東栄町3351-1
TEL 0265-24-1275 FAX 0265-49-0005
Ej-k fujimoto.sekkei@bj.wakwak.com
ホームページ http://park17.wakwak.com/~fuji3

記



藤本建築設計事務所

設計事務所登録第(飯田)H64251号 1級建築士大臣登録195143号 藤本 勝

設計者

藤本 新
一級建築士

登録番号:第391758号

工事名

高遠高等学校 体育館屋根改修工事

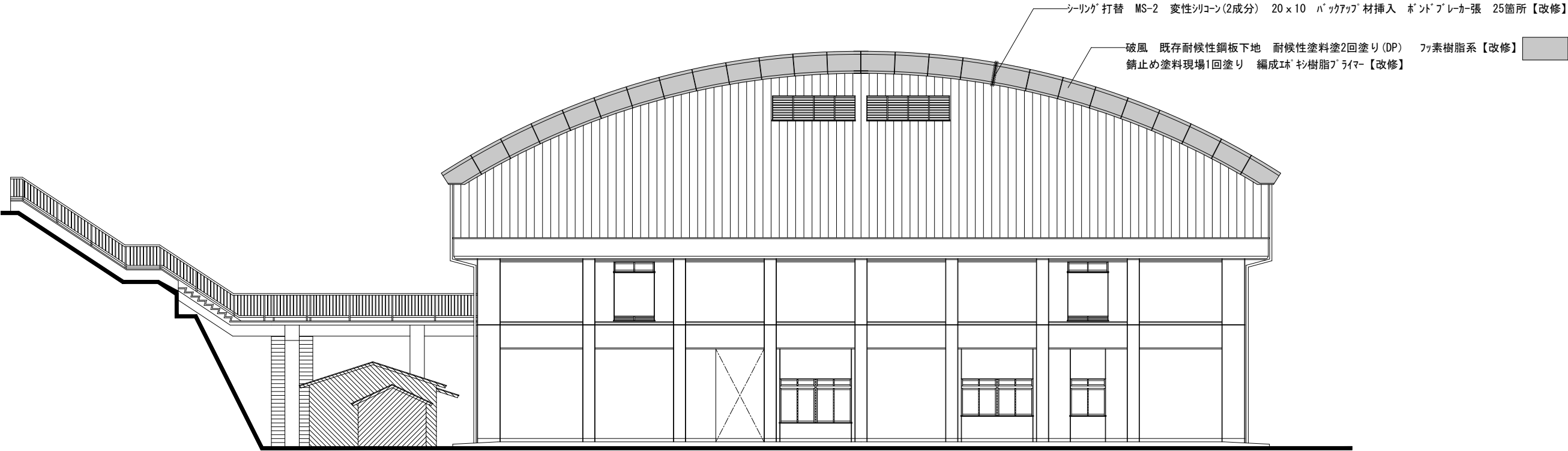
図名

改修後 立面図-1

縮尺 S=1/200

No.

A-15



改修後東立面図

S = 1 / 200

シーリング打替 MS-2 変性シリコン(2成分) 20×10 バックアップ材挿入 ホントブレーカー張 25箇所【改修】
破風 既存耐候性鋼板下地 耐候性塗料塗2回塗り(DP) フッ素樹脂系【改修】
錆止め塗料現場1回塗り 編成珪矽樹脂プライマー【改修】

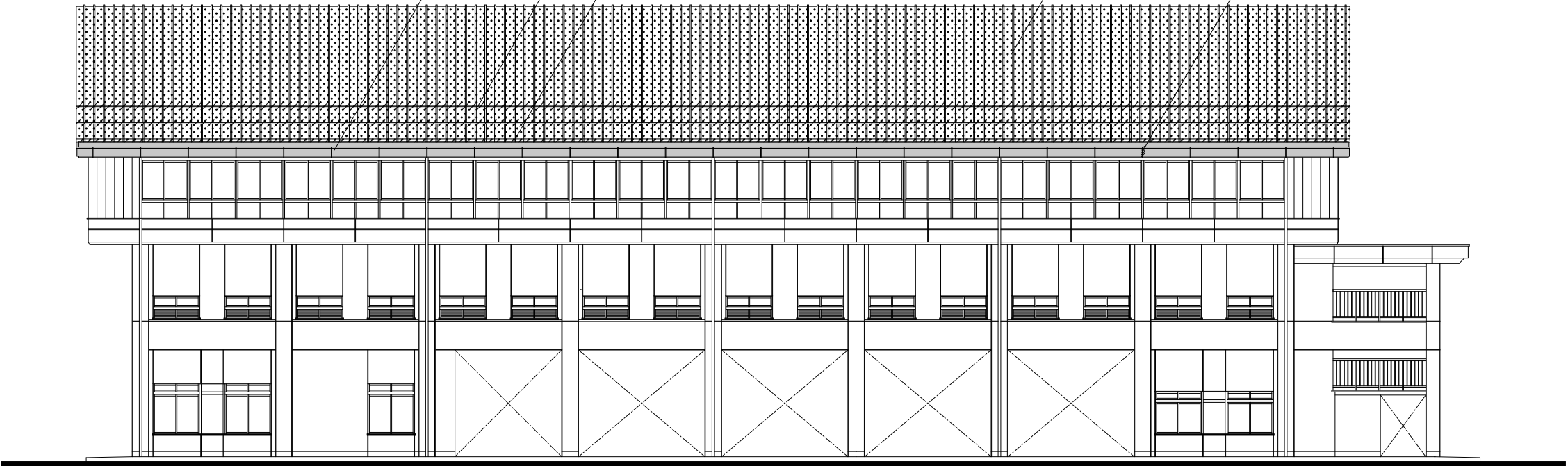
屋根:既存屋根の上にかへて工法で改修【改修】
アルミ亜鉛メッキ鋼板(ガルバリウム鋼板)t=0.5 裏打断熱材:無機質高充填フォームt=4 瓦棒葺【改修】
吊子 5φシンクワッシャー止め ~@606【改修】
アスファルトルーフィング 940適合品(JIS規格)【改修】

シーリング打替 MS-2 変性シリコン(2成分) 20×10 バックアップ材挿入 ホントブレーカー張 5箇所【改修】

笠木・幕板共 既存耐候性鋼板下地 耐候性塗料塗2回塗り(DP) フッ素樹脂系【改修】
錆止め塗料現場1回塗り 編成珪矽樹脂プライマー【改修】

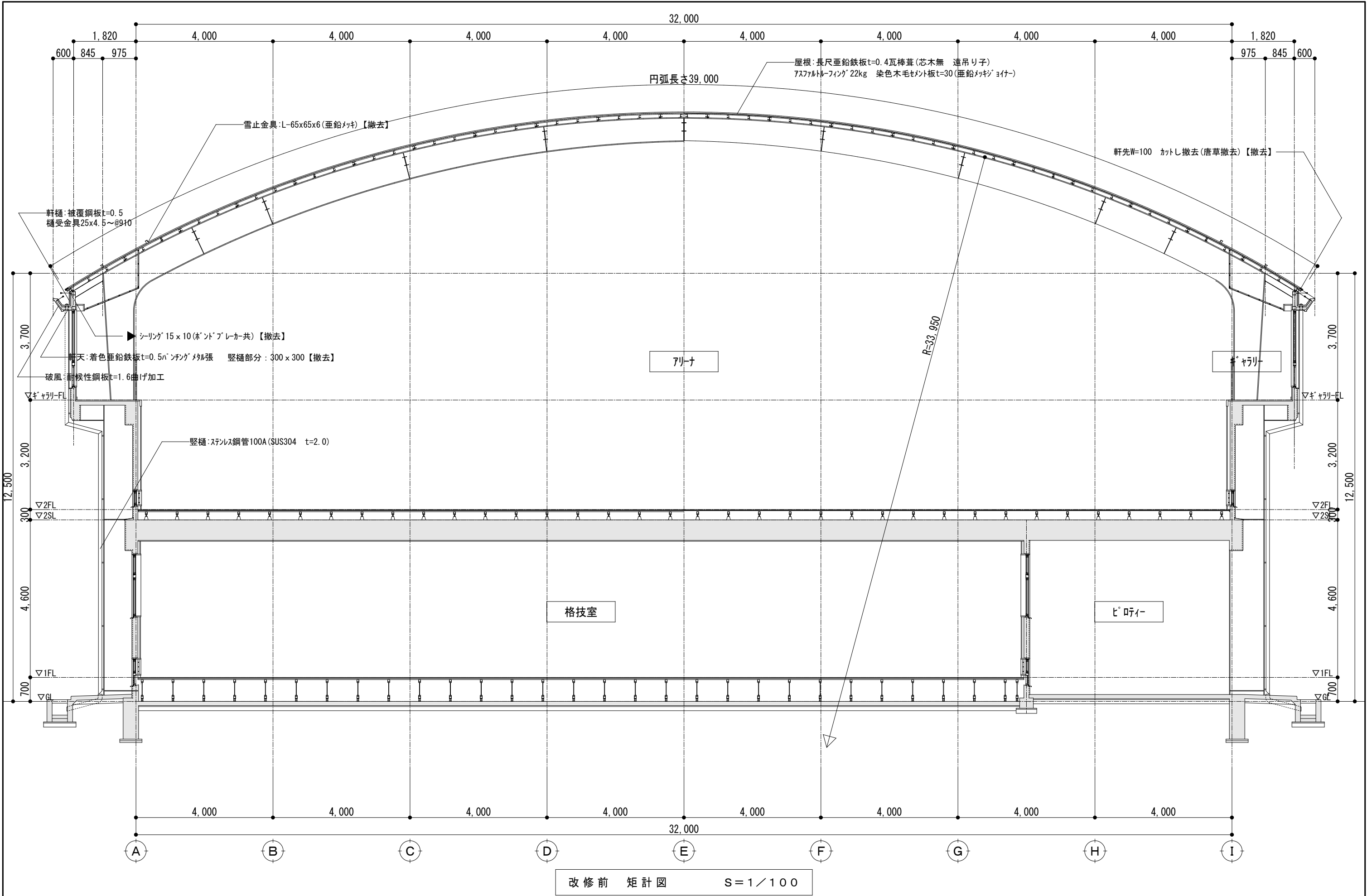
雪止金具:L-50x50x4(亜鉛メッキ) 4段【改修】

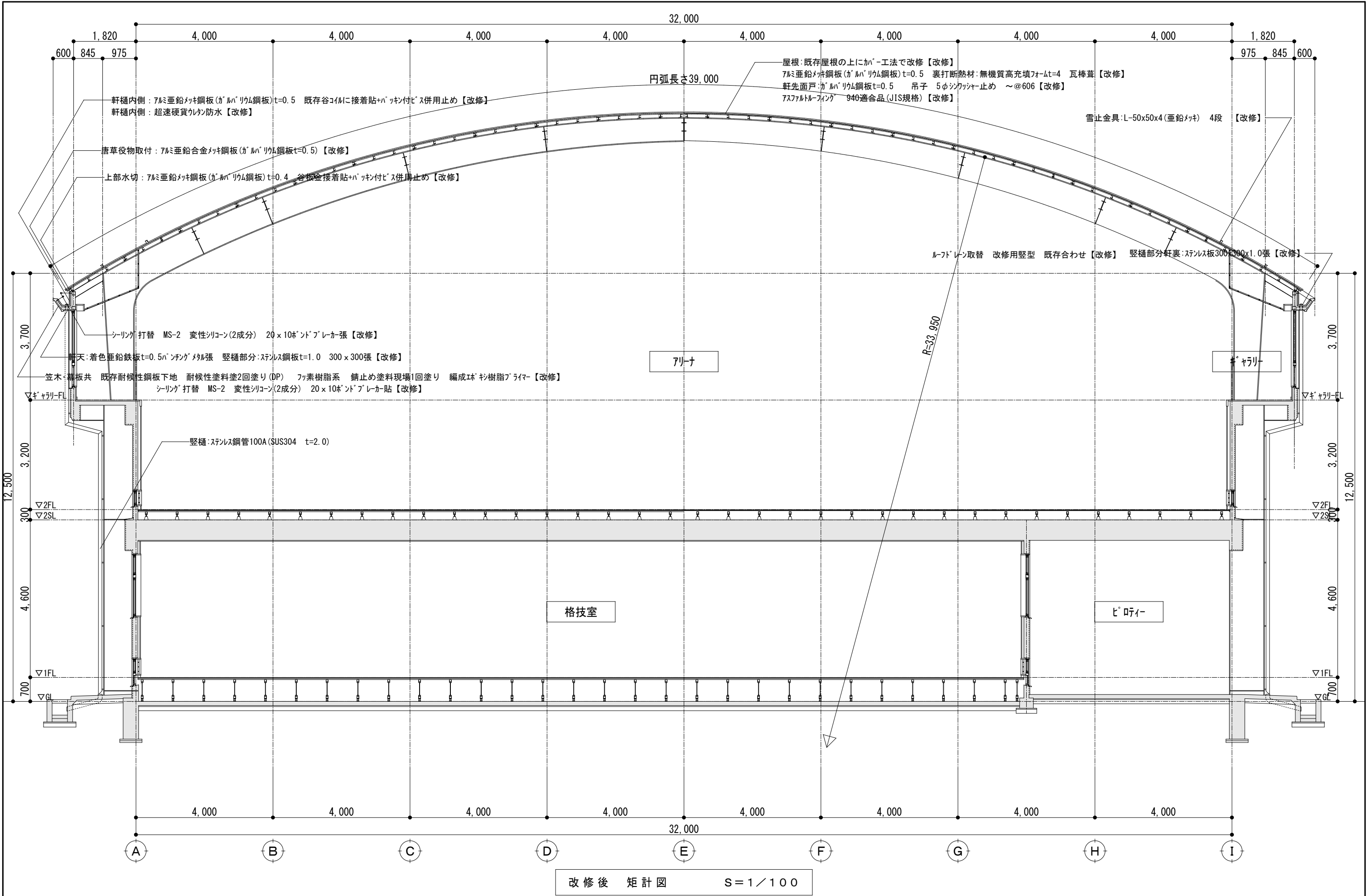
唐草役物取付:アルミ亜鉛合金メッキ鋼板(ガルバリウム鋼板t=0.5)【改修】



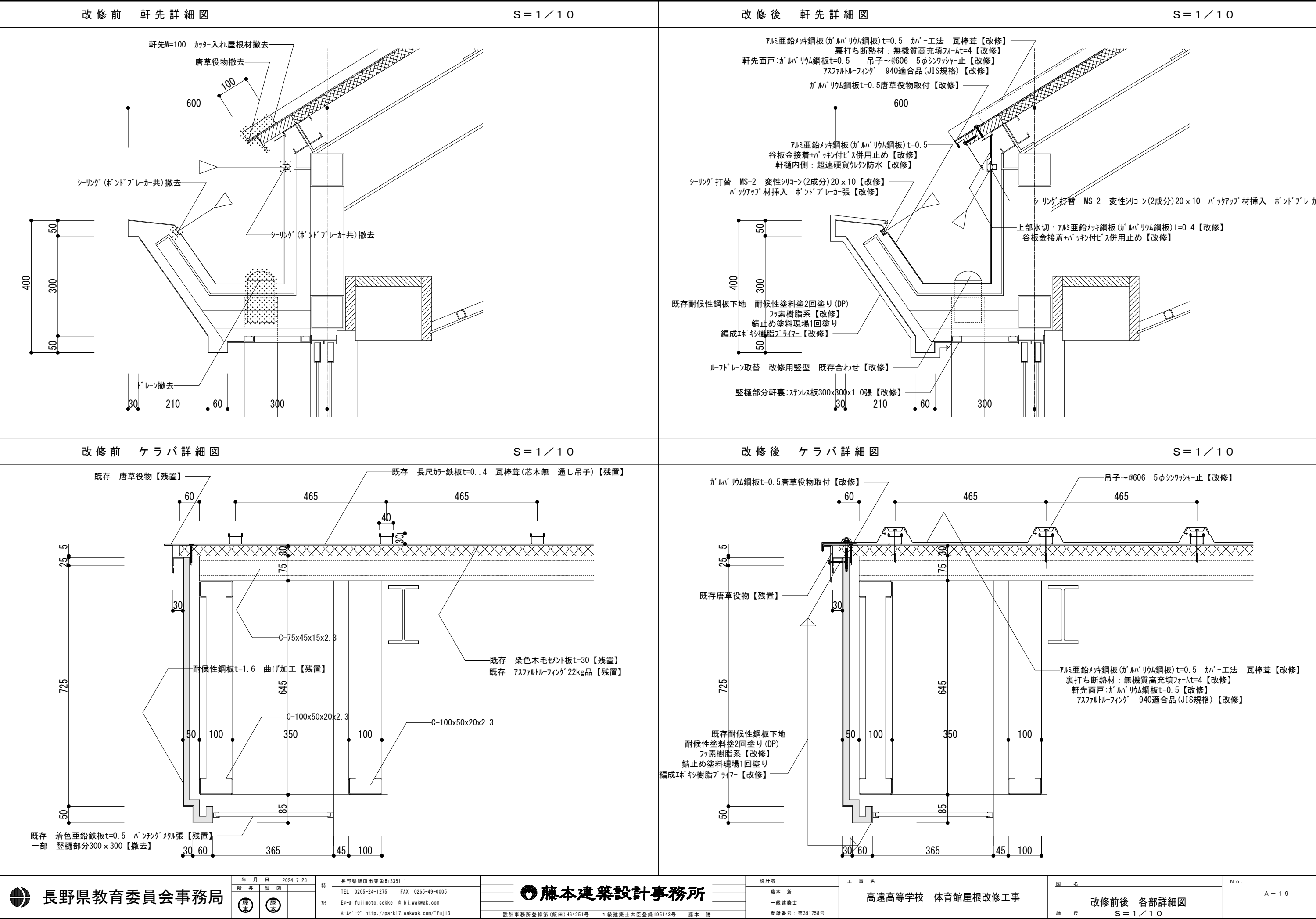
改修後北立面図

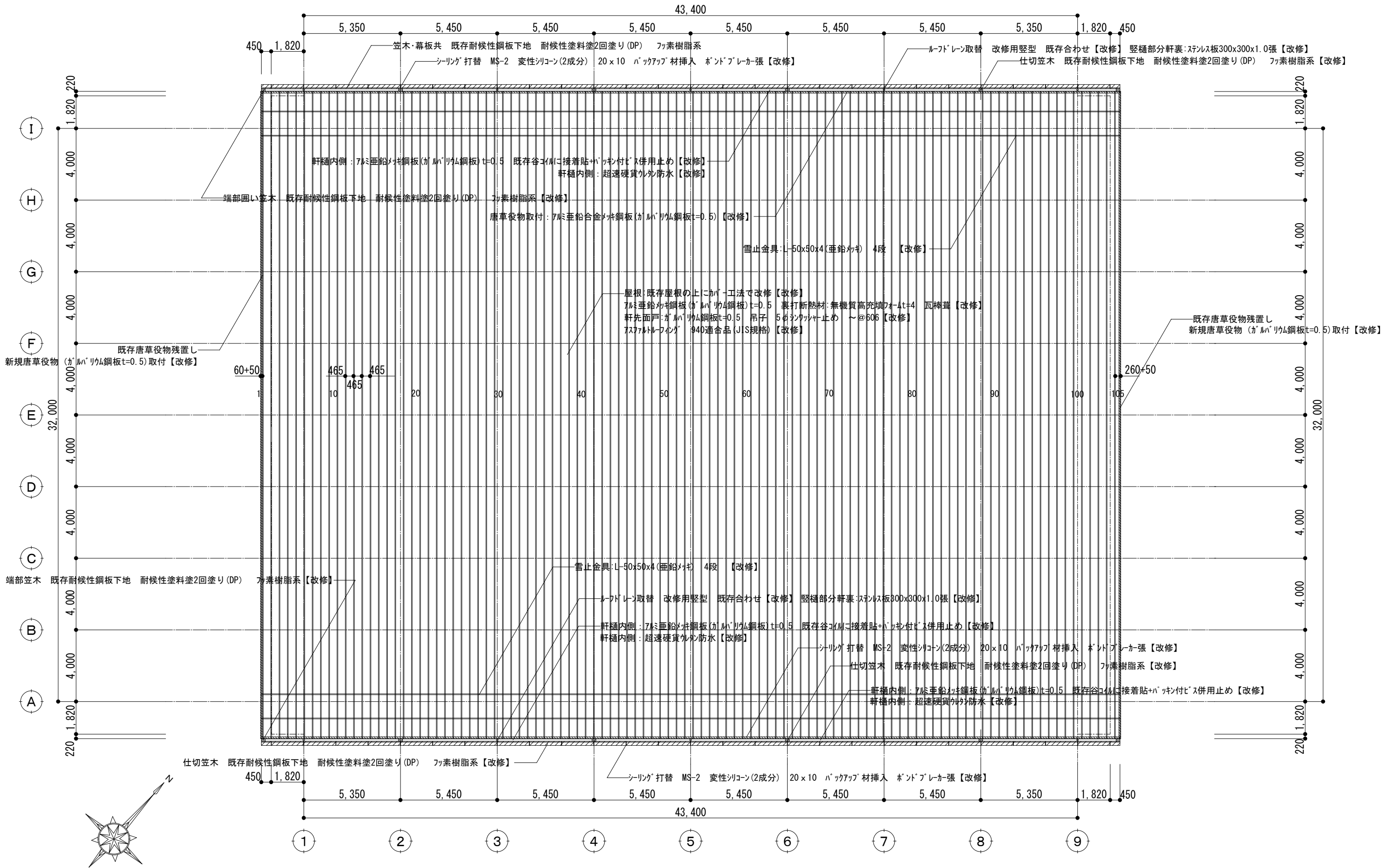
S = 1 / 200





改修後 矩計図 S=1/100





改修後 屋根伏図 S = 1 / 2 0 0



長野県教育委員会事務局

年月日	2024-7-23
所長	製図
藤本	藤本

特

長野県飯田市東栄町3351-1
TEL 0265-24-1275 FAX 0265-49-0005
EJ-k fujimoto.sekkei @ bj.wakwak.com
ホムペ http://park17.wakwak.com/~fuji3



藤本建築設計事務所

設計事務所登録第(飯田)H64251号 1級建築士大臣登録195143号 藤本 勝

設計者	藤本 新
一級建築士	
登録番号	第391758号

工事名
高遠高等学校 体育館屋根改修工事

図名	改修後 屋根伏図
縮尺	S = 1 / 2 0 0

No. A - 2 1